

2年福祉保育コース
令和4年7月6日（水）2時間目

上手な絵本の読み聞かせ手法講座

常陸太田市 教育委員会
図書館 司書 川崎 訓子 様
(常陸太田市まちづくり出前講座 常陸太田市広報広聴課広報係より紹介)

講座では「高齢者も昔話を聞くことが好きな方が多い」「子どもはお気に入りの絵本がある」ことから、生徒の将来に活かせるようにと内容を工夫してくださりました。また、昨年度の保育士国家試験の実技試験課題「桃太郎」を例に、出版社により内容が若干違うこともご紹介いただきました。

子どもは、絵から情報を得ることから、子どもの反応を自分で確認しながら、読み手と聞き手のキャッチボールを大切に、絵本をまるごと見せていくことを学びました。絵本には、「縦書き」と「横書き」があり、めくり方が違うことやページをゆっくりめくり、絵をじっくり見せると、子どもが「読み手」が気づかないことを「発見する」ことができることを学びました。また、絵本の話や絵を活かすために、扉絵や後ろ表紙もしっかり見せ、最後まで絵本の世界を体験して楽しむこと、読み手に想像させることも学びました。実際に発声練習や絵本をめくる体験をし、実際に難しさや事前に練習して工夫すること、準備していくこと、自分らしい声、心を込めた声で、全員に聞こえる声の高さで行う大切さを学ぶことができました。川崎先生のお話から、読み聞かせは、何度も練習が必要で、何回も準備をして、読み手の立場を考え、行っていくことを学ぶことができました。

ご指導、ありがとうございました。

